



研究テーマ

伝え合い・学び合いを通して育む確かな学びと豊かな心

真鶴町幼小中合同教育研究会

授業研究

- ・12年間を見通したカリキュラムの編成・再編
→ふるさと教育研究部・ICT研究部・外国語研究部
国語科研究部・算数・数学科研究部
- ・校内研究会の相互参観、研究協議への相互参加
- ・授業に関する真鶴スタンダードの確立

幼(保)小中連携事業

- ・あいさつ運動 ・中学校学習活動発表会への参加
- ・部活動体験 ・交流授業 ・保育体験
- ・園児・児童生徒指導
- ・ウィンタースクール
→目標の明確化・振り返りの充実

ふるさと教育の充実

- ・年間指導計画の検証と修正
- ・学習内容・実施形態等の確認・情報共有
- ・キャリア教育の取組
- ・家庭・地域への学習成果等の情報の発信

幼・小・中

ひなづる幼稚園

まなづる小学校

真鶴中学校

研究テーマ

心と体を弾ませ、主体的に取り組める環境づくり

粘り強く学ぶ子の育成
～読みの視点を明確にした「読みたい」と思える授業づくりを通して～

目標を持って、主体的に学ぶ力の育成
－幼小中、12年間の学びを見通した授業づくり－

研究内容

- ・12年間の子どもの育ちの連続性を大切にしたい土台作りを行う。
- ・子どもたちで作り出した遊びが充実・継続し、発展していける環境づくりを行う。
- ・環境づくりを通して、子どもの思いや主体性を大切にしていける保育を行う。
- ・読み聞かせと読書習慣の定着を図る。

- ・就学前に獲得してきた力を生かしながら、「わかる・できる」授業を積み重ね、中学校の学びにつなげる。
- ・文章を読み取る際の視点を明確化し、児童が読みの視点に着目できるようにする。
- ・児童の学ぶ意欲を大切にしたい学習ゴールを設定する。
- ・語彙を大切にし、語彙力を高める。
- ・読書活動を推進し、「読書の日常化」を図る。

- ・幼小中12年間の学びを意識し、既習事項を活用した授業を行う。
- ・生徒の実態を踏まえた上で、「授業のユニバーサルデザイン」を基盤とした授業改善に取り組む。
- ・多様な人々との交流を通し、思いやりの心と豊かな人間関係を育む。
- ・朝読書(MT)の時間を充実させる。

講師

元酒匂幼稚園副園長 杉浦真由美 先生
早稲田大学 小林宏己 先生

山梨大学 茅野政徳 先生

元はるひの小中学校長 本間俊 先生

まとめ

今年度は、12年間を見通した新たな真鶴町の教育の創造に向けて、「真鶴町幼小中合同教育研究会」を立ち上げ、①ふるさと教育②ICT教育③外国語教育④国語科教育⑤算数・数学科教育の5つの研究部会で課題の整理及びカリキュラムの再編・実践などに取り組んだ。新たな教育を組織的に創造していく中で、子ども理解や教育目標の一貫性、学習指導の連続性、学習内容の系統性が高まり、授業の質の向上につながった。また、園児・児童・生徒と取り組む「環境づくり」や「授業づくり」に一定の成果がみられ、学習者を主体とする授業改善の意識が個々の教師に定着してきている。今後も、幼小中の垣根を乗り越え、様々な子どもの育ちに応じつつ、一貫教育の強みを生かした、園児・児童・生徒と取り組む授業づくりに努めていきたい。